

# 泉中央地区社協だより

泉中央地区社会福祉協議会

第41号(令和4年6月20日)

住みなれた街で安心して末永く

## 安心カードをご活用ください

### 突然「救急車を呼んだ」「どうしよう…

そんなときのために、泉中央地区社会福祉協議会では今年度「安心カード」を配布します。サイズは大きくA4版、表紙はぱっと目を引く赤い色。中面を開くと緊急時の連絡先や持病の有無、かかりつけ医、介護度や介護事業所などを書き入れて、スムーズに医療機関へ引き継げるようになっています。



おもて



うら



「あれ、うちのおじいちゃんおばあちゃんは内科にも通っていたし、整形も通っていたなあ？」。

かかりつけ医がたくさんある場合、とっさには医療機関の名前が出ないもの。時間のある時に家族と一緒に書き入れることで、お年寄りの健康状態を確認し、病気に早く気が付くことができます。

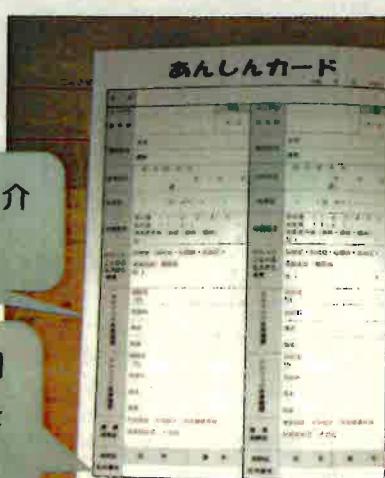
以前にも配布していますが、数年間で健康状態には変化があるものです。最新の内容に更新しましょう。

裏面には、我が家家の防災メモとして指定避難所やライフラインの連絡先を載せました。万一の災害時にも安心です。

中面

生年月日や血液型、介護度を書きます

かかりつけ医療機関や健康保険証番号を書きます



緊急時の連絡先を書きます

友人やご近所の方、民生委員を書きます

地域包括支援センターの担当者やケアマネージャーを書きます

配布については準備ができ次第、順次お届けいたします。また民生委員や福祉委員、町内会役員など関係団体と協力し、一人暮らしのお年寄り世帯などには安否確認も兼ねて、訪問しながら活用方法を説明することも検討しています。

## 充実した活動をめざして

友愛町自治会 佐々木 光一

4月3日(日)友愛町自治会新副会長の宇井和男さんが新たに事務局として加わり、22年度第1回友愛支部委員会を行いました。今後泉中央地区社協の会議に参加しますので、前任の太田正さん同様よろしくお願ひします。

4月の活動は、「要支援者(仙台市登録者も含め)」の方々を福祉委員と事務局員(民生・児童委員が兼務)が組になり分担して訪問、水害時の避難(垂直避難が基本)について個別に確認し、そのサポート体制を作成する計画です。



5月のサロンでは「大雨に備えて」と題して、減災・防災アドバイザー折腹久道さんの講演会をしました。支部の年間活動は、毎月第1日曜日に支部の福祉委員会、第3水曜日にサロン、第4週水曜日に健康サロンを開きます。年間のイベントとしては、5月防災の講演会、9月彼岸花を愛でる会、10月パークゴルフ、12月年末お楽しみ会、年が明けてからコンサートなどを企画しようと思います。

## 知恵を結集して豊かな人生を

泉中央町内会 菅谷 一己

新型コロナウイルス(Kovid-19)感染も既に3年目となっています。ワクチン接種と変異ウイルスとの攻防はしばらく続くとみられ、“ウィズコロナ”も社会生活に浸透してきているように思われます。

当支部においては以前に行なわれていた定期総会、夏祭り、スポーツ大会、敬老会、サロン会等、3密に該当する催しは時々の感染状況に応じ中止、延期を余儀なくされ、目に見えぬ敵に翻弄されているのが現状です。このままでは地域、地区のコミュニティ活動は閉塞感に陥ってしまいます。これからは効率・集合型(大多数)から非効率?・分散型(小人数)への移行も必要ではないかと思います。多くの知恵を結集して豊かな人生を送りたいものです。

長く感じた冬季が去り、明るい日差したっぷりの季節になりました。自然に目を向ければ、季節ごとに表情を変える山々と鳥のさえずり、刻々と変化する空、そして大海原…3密防止、手指消毒・マスク着用を当たり前として日常生活に取り入れ、ひとり一人が活きる生活を生み出していければよいと思います。



## ■街の風～編集後記～

市名坂町内会 佐藤 紀子

1月は行ってしまい、2月は逃げていき、3月は去って行く。韻を踏まえて、新年から3ヶ月の間の“時”の流れの早さをリズミカルにうまくとらえ、言い得て妙だと思ったものでしたが、今年の慌ただしさはいつものその比ではありません。繰り返し形を変えてまでも押し寄せ挑んでくるコロナ禍。主婦や子どもまで巻き添えに世界を揺るがし続けるロシアとウクライナの戦火。3月にはあの11年前の再来かと思うような地震。そん



な騒がしい中でも桜の花は春に花びらをゆだね、風に美しくかぐわしい香りを舞わせ咲き乱れていました。そしてもう6月！山の緑が日ごと濃くなり目に優しく活力を漲らせ自然の四季を謳歌しています。

これからの半年は有事が收まり他国の痛みを理解しつつも、あくまでも平和の旗をかざして過ごしていきたいと願います。